様式１

平成３０年４月１日

平成３０年度　学校経営環境分析書

下蒲刈中学校区　校番１９　　学校名　下蒲刈中学校

１　学校の内外環境の分析

O（支援的要因）

○ＰＴＡ役員が学校教育活動に対して協力的である
○地域人材が豊富であり，地域の関係機関や個人との協働ができる
○自然環境に恵まれ，文化施設も充実している

S（強み）

○小規模校であり，教職員間の情報の共有化が図りやすい
○全教職員が全校生徒と直接の関わりがもてる
○学力向上対策事業終了後も継続・発展の取組を行っている
○生徒の主体的な活動の場を作りやすい
○個別指導がしやすい

T（阻害的要因）

○小学校との距離が遠いため，児童・生徒の直接の交流の機会が制限される
○バス通学の生徒がおり，バスの運行時間の関係で，教育活動の時間が制限されることがある

W（弱み）

○生徒が競争しながら，切磋琢磨していこうとする意欲にやや欠ける
○自尊感情や自己肯定感にやや欠ける
○人間関係が固定的である
○受動的で自主性が弱い
○学習意欲や家庭学習の習慣がやや乏しい
○体を動かすことの習慣にやや欠ける

外部環境　内部環境

支援的要因と強みを生かした活動・取組は

○生徒個々の課題把握を基にした教科指導の創造
○縦割り班を活用した生徒の自主性向上に向けた取組の確立
○地域の特性を生かした，地域との協働による取組の充実

○生徒の自己有用感，自己肯定感を高めるための教育内容の創造・改善（授業，体験活動，学校行事等）
○学習意欲の向上と家庭学習の定着
○異学年交流の充実
○９年間を見通した教科指導の充実
○体を動かすことの習慣化

阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は

２　重点課題

① 課題把握に基づいた授業改善を通して，更なる学力の向上を図る
　個に応じた指導の徹底，小中一貫カリキュラムの実践と検証，学習意欲の向上，家庭学習の定着
② 自尊感情や自己肯定感を向上させるとともに，体力の向上を図る
　異学年交流と小中合同行事の充実，効果的な体験活動，体を動かすことの習慣化